

| | |
|-----------|--------------|
| 令和6年3月27日 | |
| 資料提供 | |
| 担当課 | 学校教育局県立学校教育課 |
| 担当班 | 教育改革推進班 |
| 担当者 | 藤下法紹、中谷郁夫 |
| 電話 | 073-441-3681 |

令和7年度和歌山県立高等学校入学者選抜以降の方向性について

令和5年7月の「令和6年度和歌山県立高等学校入学者選抜の概要について」の発表以降、標記の件について検討を進め、現時点での課題を以下のように整理しました。

- 高等学校は、魅力化・特色化をより一層進めるとともに、そのことを様々な機会を通して中学生にしっかりと理解してもらう必要があること
- 中学校は、生徒個々の適性や将来の展望等の把握に努め、キャリア発達の実情に応じた進路指導を充実させる必要があること
- 中学校における部活動の地域移行の進行等を踏まえ、学校外での活動や成果を含め、生徒を多面的に評価する必要があること
- スポーツ推薦が一部の高等学校の特定の競技に限定されていることの改善とともに、文化や芸術などの活動も同様に評価する必要があること
- 余裕をもった入学者選抜の日程となるよう、日程の見直しやスリム化が必要であること
- 出願などの事務手続きや面接・採点等の業務の軽減の必要があること

こうしたことから、令和7年度入学者選抜以降については、課題として挙げられた点の改善に向け、以下のとおり進めていくこととします。

《令和7年度入学者選抜からの取組》

- ① 特色化選抜の対象や募集枠を拡充する。
- ② スポーツ推薦は、対象や募集枠を縮小する。スポーツ推薦については、その一部を特色化選抜に移行するとともに、令和9年度入学者選抜（令和6年度中学1年生対象）を最後に廃止する。
- ③ 一般出願において、中学校からの申請の電子化を検討する。
- ④ デジタル採点システムを導入し、高等学校の採点業務の軽減を図る。
- ⑤ 高等学校では、自校の魅力化を更に進めるとともに、スクール・ポリシー等、その内容の周知に努める。また、中学校では、生徒が適性や展望に応じて進路を選択できるよう進路指導の充実を図る。

《今後更に検討を進める事項》

- 日程の見直しやスリム化
- 生徒個々の活動や適性、資質・能力等を多面的に評価する仕組みの構築